

ていたことに感謝しています。

市長 1年生の夏の甲子園で、四番を任されている姿に驚きました。どのような気持ちで臨まれましたか。

前川 試合に出られない3年生がたくさんいる中で出させていたかったので、きちんとした行動や責任のあるプレーをしなればという気持ちがありました。

市長 プレッシャーもあったでしょうね。

前川 四番を打つからには学年は関係ないと思うので、そこは引くことなくいけたかなと思います。

市長 その時の三重県代表が津田学園で、兄・夏輝さんが3年生で出場されました。2人が並ぶ姿が報道され、津市の皆さんはとてもうれしかったと思います。このときお兄さんとは話をされましたか。

前川 甲子園という舞台で対戦できたから良いなどは話しました。それは叶いませんでしたが、一緒に出られたことはとても良い思い出になりました。

市長 2年生の時は新型コロナウイルス感染症の拡大で夏の甲子園が中止になり残念でしたね。

前川 はい。泣き崩れる先輩たちの姿を胸に刻み、自分たちが全力でプレーしていかなければという気持ちにもなりました。

市長 祈るような気持ちで迎えた3年

生の夏、甲子園大会が開催され最高学年で智辯学園の主砲として、どんどん勝ち上がりました。調子はいかがでしたか。

前川 春の甲子園敗戦の悔しい気持ちから、最後の夏は自分の力を最大限に出すためにモチベーションを上げて取り組んできたので、やるべきことはやりきったという気持ちで臨みました。

市長 夏の甲子園6試合で打率4割5分5厘。決勝戦は敗れたものの3安打、それまでに2本のホームランも放たれました。よく打ちましたね。

前川 そうですね。でもまだ打てたところもあったと思います。

市長 決勝戦は智辯和歌山との智辯対決が注目されました。甲子園で活躍する両チームの対戦はレベルの高い良い試合でした。準優勝という結果を導かれた最後の甲子園。総括していかがでしたか。

前川 甲子園という舞台に何回も出させてもらうことはなかなかないと思うのですが、メンバーにとっても恵まれたという気持ちです。自分一人ではやってこれなかったですし、いろいろな方のサポートがあり、ここまでやっていくことができたと思います。

市長 その智辯学園が津で見られるはずでした。三重とこわか国体では高校野球が津球場で開かれる予定で、6億5,000万円ほどかけて改修して準備を



1年生時、兄・夏輝さん(右)と甲子園球場で

整えていたのですが中止になり残念でした。津球場での思い出はありますか。

前川 中学校生活最後の夏の大会、全国大会出場を決める決勝戦で、敗れましたが津球場で試合ができました。

市長 また地元で前川選手の雄姿を子どもたちに見せていただける機会があることを期待しています。子どもたちにとって憧れの選手である前川選手から何かアドバイスはありますか。

前川 小さい頃は全力で楽しむことが一番大事だと思います。遊ぶ時は遊ぶことに全力、そしてバットやボールを握る時も全力で取り組むというメリハリのある生活を送ると、良い結果が生まれてくると自分は思います。

市長 まっすぐに自分の全てを懸ける真摯^{しんし}でひたむきな姿勢を前川選手から感じます。最後にプロ野球に懸ける思いなどをお聞かせください。

前川 ここで満足していたらダメだと思うので、1年目から引くことなく自分のプレーをできるように、そして1年目から一軍で活躍できる選手になれるように頑張りたいです。

市長 津市民の皆さまとともに応援させていただきたいと思います。

プロ野球での活躍を期待しています



津市長
前葉 泰幸
MAEBA YASUYUKI

市長対談の全編がご覧いただけます!

MAYOR'S TV SHOW

- ◆ 津市ホームページ 津市 市長対談 検索
- ◆ ケーブルテレビ行政情報番組(123ch)

